

登録コード	ASJ03645	開講年度	2026				
授業科目	特別研究				担当教員	上野 豊	
英文授業名	Graduate Research				副担当		
単位数	10	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	備考	修士2年	
信大コンピテンシー	該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ						
	【専攻】生命科学, 食品科学, 食料生産および環境の保全と修復などの分野における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を修得している。				⇔	生命科学および環境科学における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力に加え、高い研究開発能力を有している	
	【専攻】農学分野で必要とされる情報収集・分析能力, 批判的思考力を有し, 農学分野での研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を有する。				⇔	研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観を有し、農学分野で必要とされる情報収集・分析能力, 批判的思考力を有している	
授業の概要	論文作成、発表、最終試験などの課題をクリアできるように、研究計画の立案、分析技術の修得、実験の遂行、結果のまとめと解析、プレゼンテーションの技術などの指導を段階的に行います。						
Contents:	当研究室では、次のふたつの研究目標達成のために、限りある資源を無駄なく利用する資源循環システムの構築に向けて、動物生産学と応用微生物学の観点から研究に取り組んでいます： 研究目標①「消化管における動物と微生物との共生関係の解明」 研究目標②「微生物機能の活用による資源有効利用技術の開発を通じた循環型社会完成への寄与」 具体的な研究テーマについては、研究室webサイト http://karamatsu.shinshu-u.ac.jp/lab/ueno/research/res_top.html に掲載していますので、参考にしてください。						
授業計画	1.研究計画の立案について 2.分析技術の習得について 3.研究の遂行について 4.結果のまとめと解析について 5.プレゼンテーション、对外発表について 6.論文作成について						
成績評価の方法	修士論文発表および最終試験成績…80%、对外発表（学会発表、原著論文）…20%で評価します。 最終試験においては、顕著な研究成果の有無よりも、研究態度や課題と向き合う意欲に関して、修士として相応しい資質を修得しているか否かを重視します。						
成績評価の基準	次の評価基準に基づき成績評価を行う。 秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している 優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良：授業の達成目標の水準よりやや上にある 可：授業の達成目標の水準にある 不可：授業の達成目標の水準より下にある						
事前事後学習の内容	担当教員が適宜指示する。						
履修上の注意	研究成果を適切な時期に、適切な方法で外部に広めていくことが、研究者の大切なresponsibilityと考えており、修士課程に籍を置く皆さんにとっても例外ではありません。 对外発表や他研究者との交流機会は積極的に設けます。そうした機会を通じて、ぜひ自身を客観的に観察し、一段の成長を図ってください。						
質問,相談への対応	担当教員が随時、直接受け付けます。						
学生へのメッセージ							
【教科書】	なし						
【参考書】	必要に応じ、担当教員が提示します。						